

小山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	コラボワークⅠ	
科目基礎情報							
科目番号	0060			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電気電子創造工学科			対象学年	2		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	必要に応じて担当教員が指定する場合がある。						
担当教員	小林 康浩,田中 昭雄,平田 克己,飯島 洋祐,千川 尚人,床井 良徳						
到達目標							
自立に関する到達目標：主体性や自己管理能力が身に付いている。 協働に関する到達目標：他者を尊重しながらチームで作業ができる。 創造に関する到達目標：情報を収集・整理して課題を発見し提案することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 自立に関する到達目標	スケジュール管理、報告、連絡、相談、目標の立案について、他者と一緒に行える			スケジュール管理、報告、連絡、相談、目標の立案について、自己で完結してできる		できない	
評価項目2 協働に関する到達目標	自分と意見の異なる人の意見を受け入れ、自分の意見も述べながら、チーム全体を合意形成に導くことが他者と一緒に行える			自分と意見の異なる人の意見を受け入れ、自分の意見も述べながら、チームの中で役割分担をもって活動できる		できない	
評価項目3 創造に関する到達目標	自主的に情報収集することができ、整理しまとめ、自分の意見やアイデアを加えて他人に説明することができる			自主的に情報収集することができ、整理しまとめ、自分の意見やアイデアを出すことが自己で完結してできる		できない	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 ②							
教育方法等							
概要	自立、協働、創造の能力を養成することを目的とし、多様な環境（他学科の学生との交わり、学外の人々との交わりなど）の中で、チームにどんな貢献ができるかを考えて自立的に役割を果たし、メンバーと協働し、チームワーク力を発揮して、創造性が養われる学習活動を行う。各チームでメンバー全員にとって何らかの挑戦（チャレンジ）を有し、チーム以外の誰かを幸せにする活動を担当教員とチームで決定する。活動計画書を作成の上、活動を行う。報告会や振り返り会を経て、活動計画の修正を行いながら、活動を進める。						
授業の進め方・方法	2年生、全学科の学生を無作為に選んで構成された8名～9名の学科横断のチームによる学習活動を進める。チーム内で自己紹介、アイスブレイクを通じてチーム内の人間関係を構築したのち、チームで取り組む課題を発見し、解決に向けた提案、計画、役割分担、実践を行う。取り組み課題を通じて自立、協働、創造にかかる力を身に付け、これらの能力を養うという目標を達成するために、授業に積極的に関わることが必要である。授業開始後は、チームの担当教員との連絡が取れるよう確認すること。自己目標を立てるにあたっては、授業で配布されるルーブリックを参照すること。また、ルーブリックは、自己評価や相互評価に加え、本科目の成績評価にも用いる。毎週、授業の終わりにはふりかえりを行うためのふりかえりシートに記入し、次の目標を立てる。						
注意点	（１）個人の取り組み80％（自立（40％）＋協働（40％）＋創造（20％）） （２）チームの取り組みと成果20％（協働（50％）＋創造（50％）） 上記（１）は、ルーブリックを用いた学生の自己評価、相互評価と教員の評価をもとに、チームの担当教員が評価を行う。（２）は前期末の報告会（中間報告会）での複数の教員による評価とする。60点以上を合格とする。合格の対象としない欠席条件（割合）1/4以上の欠課						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	全体授業ガイダンス、チームメンバーの発表、チームビルディング 授業ガイダンスを受け、全体スケジュール、活動に関する諸注意、評価方法等を確認する。チームメンバー、チーム担当教員の発表を受けチームメンバーの顔合わせ、チームビルディングを行う。		自立、協働、創造の能力を身に付ける		
		2週	チームでの共同作業を効率的に進めることを目指し、グループワークの進め方を学習し、実際のグループワークを想定した練習を行う。		自立、協働、創造の能力を身に付ける		
		3週	活動目標の決定および活動内容の計画、自己目標を各自で定めて記録する。チーム活動に向け、テーマに沿ってアイデアを出し議論をする。決定した活動目標に沿って、実施方法、役割分担、スケジュール等を決定し活動計画を決定し活動計画書にまとめる。		自立、協働、創造の能力を身に付ける		
		4週	活動目標の決定および活動内容の計画 チーム活動の目標決定に向け、テーマに沿ってアイデアを出し議論をする。決定した活動目標に沿って、方法、役割分担、スケジュール等を決定し活動計画書にまとめる。完成後は活動を開始する。		自立、協働、創造の能力を身に付ける		
		5週	活動目標の決定および活動内容の計画 チーム活動の目標決定に向け、テーマに沿ってアイデアを出し議論をする。決定した活動目標に沿って、方法、役割分担、スケジュール等を決定し活動計画書にまとめる。活動計画書を提出する。		自立、協働、創造の能力を身に付ける		
		6週	チーム活動 活動計画書に従ってチームで活動を行う。スケジュールの遅延や実施方法の不備等が明らかになった場合、活動計画の修正・変更を行う。		自立、協働、創造の能力を身に付ける		
		7週	チーム活動 活動計画書に従ってチームで活動を行う。		自立、協働、創造の能力を身に付ける		
		8週	（中間試験 実施せず）				

後期	2ndQ	9週	チーム活動 活動計画書に従ってチームで活動を行う。スケジュールの遅延や実施方法の不備等が明らかになった場合、活動計画の修正・変更を行う。	自立、協働、創造の能力を身に付ける
		10週	チーム活動 活動計画書に従ってチームで活動を行う。スケジュールの遅延や実施方法の不備等が明らかになった場合、活動計画の修正・変更を行う。6～12週の間にテーマ相互検討会を実施する。	自立、協働、創造の能力を身に付ける
		11週	チーム活動 活動計画書に従ってチームで活動を行う。スケジュールの遅延や実施方法の不備等が明らかになった場合、活動計画の修正・変更を行う。6～12週の間にテーマ相互検討会を実施する。	自立、協働、創造の能力を身に付ける
		12週	チーム活動 活動計画書に従ってチームで活動を行う。スケジュールの遅延や実施方法の不備等が明らかになった場合、活動計画の修正・変更を行う。6～12週の間にテーマ相互検討会を実施する。	自立、協働、創造の能力を身に付ける
		13週	前期末報告会（中間報告会） 活動内容を共有するためにチームの活動について報告を行う。他のチームの報告を聞く。	自立、協働、創造の能力を身に付ける
		14週	振り返り会・これまでの活動のまとめ 中間報告会の振り返りを行うと共にこれまでのチーム活動を省み、今後の活動計画を確認する。各自の行動を省みて、自立、協働、創造に関して目標達成した点や反省点を自己および相互に記録する。	自立、協働、創造の能力を身に付ける
		15週	振り返り会・これまでの活動のまとめ 中間報告会の振り返りを行うと共にこれまでのチーム活動を省み、今後の活動計画を確認する。自己および相互の行動の記録をもとにチーム担当教員よりフィードバックを受ける。	自立、協働、創造の能力を身に付ける
		16週	期末試験 実施せず	
	3rdQ	1週	コラボワークブラッシュアップセミナー① 前期の活動を振り返り、後期の活動をより充実させるためのセミナー聴講し、後期の活動の充実を図る。	自立、協働、創造の能力を身に付ける
		2週	コラボワークブラッシュアップセミナー② 前期の活動を振り返り、後期の活動をより充実させるためのセミナー聴講し、後期の活動の充実を図る。	自立、協働、創造の能力を身に付ける
		3週	活動目標の決定および活動内容の計画 自立、協働、創造に関する自己目標を各自で定めて記録する。活動計画書に従ってチームで活動を行う。スケジュールの遅延や実施方法の不備等が明らかになった場合、活動計画の修正・変更を行う。	自立、協働、創造の能力を身に付ける
		4週	チーム活動 活動計画書に従ってチームで活動を行う。スケジュールの遅延や実施方法の不備等が明らかになった場合、活動計画の修正・変更を行う。	自立、協働、創造の能力を身に付ける
		5週	チーム活動 活動計画書に従ってチームで活動を行う。スケジュールの遅延や実施方法の不備等が明らかになった場合、活動計画の修正・変更を行う。	自立、協働、創造の能力を身に付ける
		6週	チーム活動 活動計画書に従ってチームで活動を行う。スケジュールの遅延や実施方法の不備等が明らかになった場合、活動計画の修正・変更を行う。	自立、協働、創造の能力を身に付ける
		7週	チーム活動 活動計画書に従ってチームで活動を行う。スケジュールの遅延や実施方法の不備等が明らかになった場合、活動計画の修正・変更を行う。	自立、協働、創造の能力を身に付ける
		8週	（中間試験 実施せず）	
	4thQ	9週	チーム活動 活動計画書に従ってチームで活動を行う。スケジュールの遅延や実施方法の不備等が明らかになった場合、活動計画の修正・変更を行う。最終報告会の準備を行う。	自立、協働、創造の能力を身に付ける
		10週	チーム活動 活動計画書に従ってチームで活動を行う。スケジュールの遅延や実施方法の不備等が明らかになった場合、活動計画の修正・変更を行う。最終報告会の準備を行う。	自立、協働、創造の能力を身に付ける
		11週	チーム活動 活動計画書に従ってチームで活動を行う。スケジュールの遅延や実施方法の不備等が明らかになった場合、活動計画の修正・変更を行う。最終報告会の準備を行う。	自立、協働、創造の能力を身に付ける
		12週	チーム活動 活動計画書に従ってチームで活動を行う。スケジュールの遅延や実施方法の不備等が明らかになった場合、活動計画の修正・変更を行う。最終報告会の準備を行う。	自立、協働、創造の能力を身に付ける
		13週	最終報告会 活動内容を共有するためにチームの活動について報告を行う。他のチームの報告を聞く。	自立、協働、創造の能力を身に付ける

		14週	振り返り会・これまでの活動のまとめ 報告会の振り返りを行うと共にこれまでのチーム活動 を省み、チームの評価を行う。各自の行動を省みて、 自立、協働、創造に関して目標達成した点や反省点を 自己および相互に記録する。	自立、協働、創造の能力を身に付ける
		15週	振り返り会・これまでの活動のまとめ 最終報告会の振り返りを行うと共にこれまでのチーム 活動を省みる。自己および相互の行動の記録をもとに チーム担当教員よりフィードバックを受ける。	自立、協働、創造の能力を身に付ける
		16週	期末試験 実施せず	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	個人評価（プロセス評価）（自立）	個人評価（プロセス評価）（協働）	個人評価（プロセス評価）（創造）	チーム評価（成果物、報告会）（協働）	チーム評価（成果物、報告会）（創造）	その他	合計
総合評価割合	32	32	16	10	10	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	32	32	16	10	10	0	100